

啓光学園同窓会総会



盛大に開く
懇親会

57年11月3日 於學園

11月2日の学園創立25周年記念式典に続き、11月3日再建同窓会総会並びに懇親会が開催された。

4名の参加を得、学園食堂は満席の状態となった中で行なわれた。遠くは仙台小次会、三沢会が開催されま

り、会場の屋敷、同窓会館に溢れた。午後三時

林先生）や東京（ガルデア）した。

創立25周年記念式典

本会から役員出席

昭和五十年十一月一日も井上会長、乾・高田両副会長が招かれて出席し、理事の会合が招かれて出席しました。開会式群のあと、理事会長の式辞、安田久雄大教授、区大司教などの祝辞、校長長野地区の挨拶などがありました。その後、記念パーティに移り、田中健、京都都司教のお祈り、四条藤中學校校長西弘先生の講話で乾杯し、この日の会合は、懇談へ進みます。パーティには、現

昭和五十年十一月一日も井上会長、乾・高田両副会長が招かれて出席し、理事の会合が招かれて出席しました。開会式群のあと、理事会長の式辞、安田久雄大教授、区大司教などの祝辞、校長長野地区の挨拶などがありました。その後、記念パーティに移り、田中健、京都都司教のお祈り、四条藤中學校校長西弘先生の講話で乾杯し、この日の会合は、懇談へ進みます。パーティには、現

これを受けて井上新会長から新役員の見解があり、会議報告、会則一部改訂がそれら協議一致で承認された。続いて再建同窓会の今後の事業計画として会報発行、名簿作成、同窓会館建設等が発表され出席者一同校歌斉唱で閉会となった。

校会の後、同会場に於いて開催された親会合は現同窓職員60余名、同窓生14

同窓会役員名簿

会 長	井上 睦詮 (4期)	委 員	齊藤 勝 (7期)
副 会 長	高田 雅治 (3期)	〃	三保 芳博 (〃)
〃	乾 幸治 (〃)	〃	井 武明 (8期)
会 計	井上 利之 (1期)	〃	章史 (9期)
〃	田口 邦義 (4期)	〃	柏村 和彦 (〃)
常任委員	岩田 宗規 (1期)	〃	山中 茂憲 (11期)
〃	中村 孝行 (〃)	〃	中村 好孝 (12期)
〃	林 禎彦 (〃)	〃	片山 吉彦 (〃)
〃	水井 信 (2期)	〃	堀 春喜 (13期)
〃	高田 邦昭 (〃)	〃	北田 宗和 (14期)
〃	内藤 孝雄 (3期)	〃	橋本 博 (16期)
〃	初田 哲男 (4期)	〃	安井謙太郎 (17期)
〃	稲森 豊 (5期)	〃	辻本 真二 (18期)
〃	嶋村 久司 (〃)	〃	川辺 和彦 (19期)
〃	山田 逸郎 (〃)	〃	宮下 直俊 (21期)
〃	山内 重芳 (6期)	〃	西光寺 哲 (〃)
〃	入江 暢之 (〃)	〃	高橋 大介 (〃)
〃	飯田 一文 (8期)		
〃	西田 和彦 (〃)		
〃	嶋口 寿己 (10期)		
〃	多田 浩 (11期)		

25周年記念誌
発刊される

から一年がかりで学園当局が編纂した「記念誌」です。内容は、関係者の挨拶、祝辞、現 旧教員や卒業生の思い出、学園の沿革などの思い、創立当初から今日に至る貴重な写真が多数の掲載され、特に日光学園の紹介で締めくくられていた約90頁の写真集です。同意会で、この記念誌を希望者に頒布致しました。が、残部も百数十ありますので同封致します。

で、購入を希望される方は
下記の通り御申送下さい。

**同窓会名簿
も完成さる**

△ **願**

今回の啓光季手
同窓会会報創刊
あたりは先生
に原稿を御願ひ
下さるが、次

同窓会への再建をはかるには、出来るだけ正確な会員名簿を早急に作成すること不可欠であると考え、再建準備委員一同努力して参りましたが、ようやく57年

発行からは多数の記事をのせたいと思っております。

稿やクラス会速など御投稿願います。

投稿お

▷ 投稿お願い ◁

今回の啓光學 同窓会会報創刊
あたっては先生
に原稿を御願ひ
しましたが、次
発行からは多数
記事をとのせた
思いますので、
稿やクラス会連
など御投稿願ひ
す。

名簿，記念誌は下記の
方法で御申し込み下さい

名 簿 1部 ¥1,000 (送料込)
記 念 誌 1部 ¥2,000 (送料込)
送金方法 郵便振替にて送金して下さい
口座番号 大阪1-30691
加入者名 啓光学園同窓会
卒業年度 (又は卒業期) 及びクラス
を御記入下さい

販売・車検・整備
 鈑金・塗装

車の事なら全て
 おまかせ下さい

株式会社 京阪モータース

いすゞオート 北大阪駅前営業所
 枚方市山之上東町1
 0720-43-0

(第16期生) 武田 完爾

オリジナルプリント

※Tシャツ・トレーナーに
あなたのデザインを、
そのままプリント!!

※詳しくは電話にて、
お問い合わせ下さい。

アルパ香里 ☎ 0720-34-5272

〒572 寝屋川市香里新町24-16 香栄ハイツ402
2F 香里ビル内2F

大宮駅
交通の便
阪急線
山手線
有楽町線
丸の内線
池袋駅
西武池袋線
東武東上線
京浜東北線
埼京線
湘南新宿ライン

国内旅行から海外旅行のご用命は……
〒604 京都市中京区壬生坊城町1番地の10
株式会社 明星観光サービス

お申し込み
お問合せ ☎ 075(842)1421(代)

一般旅行業務取扱主任者
上田 雅(2期)

同窓会をつなぐ

パイプ役に

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark jacket over a light-colored shirt. He is looking slightly to the right of the camera with a gentle expression. The background is a plain, light color.

同窓会総会の招き、パーティに途中から参加させていた。すでに出来上っている勢いの中、在学当時からこんな催しを望んでいた。彼等生、啓光入学会が選沢の誤ちと云ふていた。突張りが、一緒に無邪気な肩をたたき合つて歡談しているさまを目にして私は胸が熱くなるのを覚えた。

はあったが、こんな会合にも飛んできた甲斐があった。この企圖を成功させるために献身的な努力をされた幹部の諸兄にあらためて謝意を表した。

その後、しばらくして同窓会名簿を贈呈したとき、そこに記載されていた一人一人の消息を確めていたと

参加出来、一〇〇〇名近くに飛んできた甲斐があった。この企圖を成功させるために献身的な努力をされた幹部の諸兄にあらためて謝意を表した。

その後、しばらくして同窓会名簿を贈呈したとき、そこに記載されていた一人一人の消息を確めていたと

者にとっては卒業以来にたれてしまったような糸を意識的につなぐよう動きを示すかも知れない。

会報発行の役割は、会活動を活性化している、と云うべき大きいものである。その意味で創刊発刊を素直に喜ぶところ、それが継続的に回を重ねることを願う次第

創刊号に

寄せて

が、幸い当時の生徒諸君は、大要寛大で、自分なりに理解してくれよう。

新任一年目の終る春三月、高二学年の生徒たちが北九州へ修学旅行に行きました。この時は一年生の学年付きでしたが、初めて教えた学年の生徒たちということもあって、単独で九州旅行を計画して、九州のどこへ行くか、どこに泊まるかを全面一手に、担当教員大切に準備した。

修学旅行の想い出と云えば数々ありますが、特に、神輿の修学旅行が想い出されます。この時は旅行係として下見に行ったり、神輿の学習を計画したり、また帰って来たあとの文化祭の時に学年全体で「神輿展覧会」を開いた。

神輿を体験した卒業生諸君は今何を思っているのでしょうか。機会があれば聞いてみたいものです。

高三サビエンスの卒業生牛生諸君、卒業後の地理の間の問題を感えいますか。諸君の書き残した原稿用紙は全て綴じ保存しています。

本誌にまじめに真剣に書いてあり、諸君の高校生活の思い出が、幸い当時の生徒諸君は、大要寛大で、自分なりに理解してくれよう。

かてで何となくと賢く考へて置かされてやうかと考へました。別府に上陸して日向から山奥の惟業村に上る道に入り、そこから山を越えて人吉に至り、首尾よく熊本城でかち合いました。実は、その時、重いリニツクを背負つて熊本城の坂道を登つていたのですが、横を突つていく観光バスから突然名前を呼ばれた彼等に引つけられた訳で、こちら

間、生徒達と士紳に取組み、生徒達と士紳に取組みました。実は、その頃北海

道行きが定着していたのを無理矢理南の方へ方向転換をさせた訳ですが、生徒諸君も最初は不満が多かつたようでした。

その後、本校の修学旅行は北海道に突つて今日に至つていますが、本校開校以来、最初に最後（に開校）のどうかは分りませんが）の

日（エイプリル・フル）の夜、中国は西湖の近くのホテル花家山賓館というホテルの部屋で書いています。旅に出るもので、自然旅の話になったのかも知れませんが、卒業生諸君が常に入生という旅をつがなせる人多く過せんことを祈ります。

『旅』の思い出から

社会科教論 齋藤 徹



が学園を興ち大学に進み
あるいは職の道を選び、
今日、社名の各界でそれぞ
れの職務、活躍をなさつて
いることと思います。

昨年、同窓生であり、か
つ同僚でもなる井上・岩田
両先生を中心として何名か
の同窓生、熱心な努力によ
つて「会員名簿」が完成
しました。そのページをめ
くると毎日本教職員や卒業生
諸君のなつかしい顔が想い
出されて、感慨新たなもの
があります。

同時に自分自身もこの学
園に社会教員としてお世
話をなされて以来、既に二十
年近い年月を経ている事を
改めて感じることゝ願です。

新任当時卒業生諸君が三
十代半ばの最も多忙で責任
が重く、良きパパとして一家を
つとめる姿に接する時々、
その恋を深くします。

一九六五年（昭和四十
四月）、桜並木の美しい
見立て女子高の如き旁
に於て女子高生が空に舞
ひあがるときに少くも
今よりはるかに少くも
ふりかへる、もし小じんま
にあつた、もし小じんま
に上つて来た生、中。学。部
大。学。部。に上つて来る生
大。高。を占め啓中出身生
大きな顔をしていまし
ました。高一、二年に
「理」を教えていました
今から振り返れば、大
講義なみの難解な授業
をしていたのではないか
と、疑をさけ出したお
んな内容であつたと思ひ

解してくれました。
新任一年目の終る春三月
高二学年の生徒たちが北九
州へ修学旅行に行きました。
これは一年生の学年
付きてきたが、初めて教
えた学年の生徒たちとい
うこともあって、単独で九州旅
行を計画して、九州のど
こで彼等とかが合つて驚
かせてやろうと考えまし
た。別府に上陸して日向
から山奥の椎葉村という秘境
に入り、そこから山を越え
て人吉に至り、首尾よく熊
本城でかち合いました。実
に、その時、重いリニク
を背負つて熊本城の坂道
を登つていくのですが、横を
通過していく観光バスから
突然名前を呼ばれて彼等
につけられた訳で、こちら
になりました。
修学旅行の想い出と云え
ば数々ありますが、特に、
沖繩への修学旅行が想い出
されます。この時は旅行係
として下見に行ったり、沖
繩の学習を計画したり、沖
繩へ来たあとの文化祭
の時、学年全体で沖繩展
を開いたりで、相当長
間、生徒達と沖繩に取組
みをしてきました。その頃北海
道行きが定着していたのを
無理矢理南の方へ方向転換
をさせた訳ですが、生徒諸
君も最初は不満が多かつた
ようでした。
その後、本校の修学旅行
は北海道に突つて今日に至
つていますが、本校開校以
来、最初に最後（に）開か
どうかは分りませんが）の
うか。機会があれば聞いて
みたいです。
高田サエジエンスの卒業生
諸君、卒業試験の地理の問
題を憶えていますか。諸君
の書き残した原稿用紙は全
て破けて保存されています。
本日ははじめに真剣に書い
てあり、諸君の高校生活の
大切な記録のように思え
るです。
さて、この原稿を四月一
日（エイプリル・フル）
の夜、中国は西側の近くの
杭州花家山賓館というホテ
ルの部屋で書いていたので、自然旅
の話になったのかも知れま
せんが、卒業生諸君が常に
人生という旅をつづける可
実多く過されんことを祈
ります。

盛進堂印刷所

569 高槻市八幡町7番8号
☎ 0726 (75) 0126

盛進堂印刷所

し、しかも2年A組は一回
 落退をまわった。しか
 ら、二回とも同じ零開気
 クラスであった。担任の
 性格がそうさせるのか。そ
 とも偶然なのか。生徒た
 はかなり自由奔放であつ
 啓光学園の校風、規則
 だ。担任が家庭訪問をする
 れでまわることが出来
 数名の生徒の家へは時
 った。二期期になつて
 わりきれなかった生徒
 不満の声を聞いた。し
 担任が家庭訪問をする

〒569 高槻市八幡町7番8号
 電話 0726 (75) 0126

育終了後、全員教室に残し、何故十字架を燃やしたのか追求した。生徒達は歴史の一コマを演じただけでそれ以外の目的はないという。楽しい思い出を残した私たちという。

私は真剣に怒った。許されんと思った。こんな気持ちで、何事もなされたら、秩序何もあつたのではもないと思つた。全員退学処分にし、私は辞表を出そうと思つた。

その日、夜遅くまでホーム・ルームの話し合いは続いた。生活指導の部長が部屋に入つて来たが、すぐ出て行った。いま他人の説教を聞く人はいないと思つた。誰一人生徒は帰らなかった。私は教師として最後の指導だという気持ちで大成を願っている。いま彼らの有志が「学生会」なるゴルフクラブを四回開催し、私も名譽会長として参加している。名譽会長にのめりかゝる「生虎」といふの集まりを「生虎」といふのが又おもひを「生虎」といふ光栄学園のご養育院で同窓会がますます有意義な仲間となることを祈念する」となることに希望する。ともに會員のご健勝をお祈りいたします。

●寄付御礼：
名簿発刊に際多謝の意を以て御寄付を頂戴した名簿原簿編輯後には左記の方々より寄付を頂戴したありがたいことといたします。

秋津博美 5期
上村清治 5期
富星重直 5期
(敬称略)

マ

田 定 明

(旧名 彰)

徒はどうしているだろう
か。卒業生が家に遊びに来
る番気にならぬ。高校野球の
学園が負けているとやはり
淋しい。弱いチームではあ
ったが、野球部員一人一人
には情熱があった。卒業し
てOBになっても、変わらず
ぬ情熱があった。みんなす
ばらしいやつだ。私は決っ
てあきらめてはならない。
彼等の情熱が後輩に受けつ
かれ、いつか花開く時が来
ることを。

つた。確か51名のクラ
スだと思ふ。当時は二
つ文系系系にわかれ、と
3年は持ち上りながら、
ていた。A Bは文系で
た。

さて、このクラスはは
の私さえ自信を持ってい
き、3年に持ち上げる
は良くないと思つた。彼
等でもないと思つた。や
だ。だが、彼らの多く
のま3年になることを望
望した。皆、元氣な学生
があったが、まともなが
い。不平を訴えてくるも
もいた。一年に十数名
則にふれて停学になる
あった。私はしかし彼
信じていた。

いよいよ3年A組へ
持ち上がりであった。一
懸念していた事がらの
きが出て来た。一学
混乱期であった。やっ

このクラスの愚の決定行
は、かみ前進しつゝあった
それは秋の体育祭におつた
放たれた。仮装行列を計画
した。彼らは「スリ・K団」
と担任には言つたが、私に
はその内容が把握できてい
なかつたのが失敗であつた
な。何故神父さんや、生活
指導部長が、やめろと言ふ
のがわからなかつた。当日
私は生徒の勧めで黒人の
女装で参加させられた。
グランドは賑やかであつた
多くの父兄、来客があつた
グランドの中央あたりで突
然、火事が起つた。私はび
つくりした。火はすぐ消さ
れた。煙だけが立ちのぼつ
ていた。グランド全体は驚
しみ、いなやうなもので騒然
とした。大きな十字架
がグランドの中で燃えたの
であつた。

これは大変なことになつ
たと思つた。案の定、生活
系又一人、自分の考へを
人々を持つて話し出す生徒
出てきた。冷やかさ生徒
不思議にいなかつた。私は
不忠誠の考えを述べた。あ
じつと彼等の一挙一投足
を監視していた。絶望と
待の心をもつて。

一人の処分もな。数週間
後に迫る文化祭に全員の
後だ。51名全員が自分の色
服をかいていてではなかつ
からいわれても反抗しな
いた生徒までがいた。

と話し、自分から動いて
たぞと思つた。何かを
だぞと思つた。文化祭まで
全員出席。演劇、異装舞
入賞、模範大盛況
で入賞。それは私も大満足
感動的な終わりの方々
講堂で演劇の生徒の姿を
講堂で演劇の生徒の姿を
一番うしろで見ていた私
胸にじーんとくるよな
たと思つた。講堂横で

会の益々の発展を祈って挨拶に換えた。

は厳しかった。だからに彼等の自由奔放さ立った。ずい分先生方迷惑をかけた。私が警園に来て二年めの2年は個性の強い生徒ば

啓光学園入学6年めで初めてだと父兄も生徒も評価してくれた。当時は啓中から上がら生徒がほとんどだった。生徒から評価されたのは初めてであった。

で時間を無視してホーム人間を続けた。私は生徒を信じていた人間であるかぎり裏切ると信じていた。内容のるホームルームだった。